

# 2 がつ アートと健康

2025

ねん

# 16

にち



14:00 ▶ 17:00

参加費無料

申込方法

こちらのQRコードよりお申し込みください。



申込締切

2025年1月30日(木)10:00まで

B棟3階 SB301教室  
@ 関西大学堺キャンパス

お問合せ先

関西大学 堺キャンパス事務室 地域連携担当  
〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1  
TEL:072-229-5024(お電話でのお申し込みは受け付けておりません。)

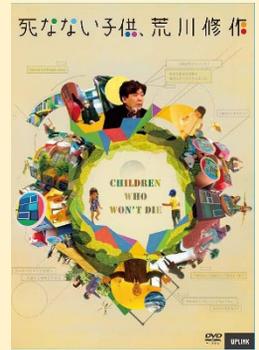
## 講座内容

現代芸術家の荒川修作は「人は死なない」と断言し、そのための家「三鷹天命反転住宅」を建築しました。荒川と彼の作った「死なない家」に住んだ人々の生命の記録である映画「死なない子供」を上映します。

さらに監督の山岡信貴氏、関西大学での身体論的観点からの荒川研究プロジェクト代表の三村尚彦氏、プロジェクトメンバーであり山岡監督作品「アートなんかいらない!」にも出演している小室弘毅氏の鼎談を行います。

山岡監督は三鷹天命反転住宅に4年間住み、子育てもしています。そこでの体験や取材を通して感じたことについてお話いただき、研究者視点からのコメントを三村氏、小室氏がしていきます。

荒川の言う「人は死なない」とはどういうことなのか?そしてそれを実現するための建築(アート)とはどのようなものなのか?考えていきます。



## 講師紹介

山岡信貴



映像作家。大学卒業後、映像技術サービスを手がけるMAGICAでカメラリストやゲームプログラミングなどの業務を担当。並行して自らの映画制作にも取り組み、国内外の映画祭で招待上映や受賞を重ねる。独立後は映像制作を軸としながら、実験映画やドキュメンタリー映画を制作。現在はプロデューサーから監督、編集、撮影まで、映像に関わる幅広い業務に携わる。作品に「死なない子供、荒川修作」「縄文にハマる人々」「トゥレップ〜『海獣の子供』を探して〜」「アートなんかいらない!Session1 情性の王国」「アートなんかいらない!Session2 46億年の孤独」等。

三村尚彦



関西大学文学部教授。専門は現代哲学、現象学。最近の研究テーマは、言葉にうまくできないけれど身体で漠然と感じている感覚がもつ創造性および現代美術家荒川修作+マドリン・ギンズの「建築する身体」という概念。雑談好きで、大学の講義では果てしなく話が拡散していく。

小室弘毅



関西大学人間健康学部准教授。教育学、身体論が専門。近代日本における人格形成としての「教養」概念の研究から、教育における身体性の問題に関心を持ち、「腑に落ちる」学びについて研究。近年は人文学的見地からマインドフルネスの研究と実践を行い、NHK総合「あいつ、マインドフルネスはじめるってよ」(2023年3月31日放送)の製作に協力、出演。現代芸術家荒川修作の研究プロジェクトにも参加し、身体と建築・アート・ファッションというテーマでも研究を行っている。山岡信貴監督作品「アートなんかいらない!」に出演。